

あなたに

出逢えて：

—第二十三号—

— 司会 —

みなさんこんばんは。

今日は特別講演といたしますか、菅原先生のお話をみなさんゆつくりとしつかり聞かせていただきたいと思います。どうぞよろしく願います。

— 菅原先生のお言葉 —

はるみ先生を中心にね、あなた方がやっている事は間違いありません。今日は皆さん方とお目にかかれた事は、私も大変嬉しく思います。

この人数でこうして皆さん方と会えるという事、はるみ先生を中心として会える。これはどういう事かという点、私たちの生命は「永遠」なんです。永遠です。

無始無終。

初めも無ければ終わりも無い。ずっと昔から、私たちの生命っていうのは永遠続いてきたわけですよ。



私達はやはり過去世というものを持っています。

死んでは生まれ、死んでは生まれ、死んでは生まれして、ずっと長い間、親を通してですね。

私達の親というのは必ず二人有ります。

その上にまた二人の親が有りますから四人になります。その上にまた親が・・・と、こういう風に十代さかのぼりますと、私達一人の親の先祖を辿って言いますと、千二十四人になるわけですね。

その親を通して、私達はこの世に生を受けましたが、その親と死に別れた時に、「あー、お母さんに死なれた。お父さんに死なれた。」

その悲しみの涙をずっと集めて言いますと、私一人の流した涙というのは、実は太平洋の海の水よりも尚多い程の涙を流して、この道きているわけですよ。

ですからあの時、過去世に置いて生まれる以前の何千年何万年、あるいはその中で生まれては死に、生まれては死に、生まれては死にした中、過去に生きていた時、皆さん兄弟であったり親子であったり、そういう同柄の者がこうして眷族（けんぞく）として、一つの縁ある者として今晚集まる事が出来たわけですね。本当に不思議な事なんです。

この世に生を受けたという事は嬉しい事です。

明日は母の日ですね。ちょっと目を瞑ってお母さんの事を思い出して下さい。
お母さんから皆生まれてきたんですよ。

親という者は偉いから親を尊敬するのでは有りません。
今六十五億の人類がこの地球上にある。

ところが六十五億の人間に、全部母親のいない人は居ないのです。六十五億の母親があると思えども、私にとって大事な母親は私の母しかないので。

親の恩というものを忘れるような事があってはいけません。

親という字を書いてみますと、立木を見よと書くんですね。

親の恩というものは見えません。だけど、親の高い高いおんまえによって今日の自分があるとすよ。

親の见えない恩に心から感謝していきますと、皆栄えるんです。

色々この人間の過去世というものを調べてみると、

今日私達がこの世に生を受けた、お父さんお母さんの恵みです。

それと同時に神様の神様のご配慮によってわたくし達は、この世に生を受けている



のだと思うのです。

だから、今思う存分悔いの無い人生を送っていなければ！

悔いある人生を送ったならば来世は幸せの人生を送る事ができないのです。原因の無い結果というものはないのです。

「因果応報」といいます。必ず縁ある者が縁ある所に生まれてくるのです。何か聞きたいことございませんか

— 蘭さん —

あの、一つ気になっていた事があるんですがよろしいでしょうか。

この世で起きた事は解決できない事はない、ということ聞きましてたけどよろしいでしょうか。

— 菅原先生 —

私達はこういう心を持っていったらいいかというと、燃えるような心を持つ事。

心配は毒ガスです。

何も心配しない生き方、明るい心を持っていくことです。

夜が明けた太陽が昇ってくるぞと言いますが、違うのです、太陽が昇ったから夜が明けるのです。

太陽とは我が心、我が命の事なのです、この命を明るく絶対に良くなる、幸せになつていくという確信を皆さん持つことです。世の中不景気だしね、この先どうなるか分からないしね・・・とか暗い考えを持っていたらだめです。

どんな所に住んでも自分のいる所はいいところだ、いいところだと思わなければいけない。あるいは給料貰つても感謝して有り難い有り難い、お金を払う時は一番幸せなときなんだと思つて喜んでお金を払う。

なんでも喜んで喜んでやる事が自分の人生を絶対に幸せにするんです。

そして、私たちの言葉というのは言霊といえますね、言葉には魂があるんです。お言葉には魂がある『言霊』

あー幸せだ幸せだ、嬉しいな、こういう言葉を発すること、これが氣、魂、言霊、全部自分の周りにこれが伝わっていくんですよ、私たちの言葉というのは宇宙の果てまでも届いていくんですよ、だから幸せになる。

いいな嬉しいな楽しいな幸せになるな俺はついてるな、私はついてるわよ、いつも幸せな方向へ言葉を発することです。そうしたならば本当に幸せになる、私こんな幸せになつていいかしらと思うよな幸せな状態になつていくですよ。

だからそういう風に思っ生きていくことですね。毎日を楽しく生きていくことですね、困ったな困ったなどうする、困った・・・

困ったと百万回唱えても幸せには絶対ならないんです。

ほかの人とも比べる必要はないんですよ、人の喜び我が喜び、親に対して親の恩を思
い人の喜びを我が喜びにしていこう。

そうすると、色んな問題が問題ではなくなるのです。
よろしいですか。

— はるみ先生 —



菅原先生に一番最初にお話を聞かせて頂いた時に、そのとき先祖のことなどいろいろお話をされて、すごいなと思ったんですけども、まさかこんな風に来ていただけるとは思いませんでした。

今日、菅原先生のお話を皆さん聞かれて、いろいろ感じられた方もいらっしゃると思います、いっかは先生の話を理解できる時期が必ず来ると思っています。

菅原先生、今日は本当に有難うございました。

— 菅原先生から頂いた五つのお言葉です —

『急ぐな』

時間を一杯使って、確実にゆっくりと行け（解け）ば良い

『光のことを心配するな』

“あの人大丈夫かな？”と思うのは、悪くなる事を考えているから駄目になる
『自然に任せて処置をとれ』

無理をしてはいけない

『これでよい』

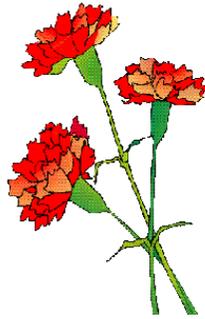
現在の結果を思い悩むな

『よろこべ』

— 相手と過去は変える事は出来ない。

今と今からを一步、一步踏みしめて行こう。

これで良いと思いだんな事（よい事、悪い事）も喜ばないといけない。 —



*
*
*
*
*

*
*
*
*
*

— あとがき —

菅原先生よりもう一つお言葉を頂きました

『全個皆完』

全てその人にとっては良い事、

後悔する事は無い

この世に無駄は無い。

菅原先生のお話、本当に有り難いと感じました

自分の心のありかたを、全て良い方向へ持っていくこと

それが幸せになる秘訣！

菅原先生有難うございました

第三十九回春瀨会

会場 魚一

日時 平成十八年五月十三日七時半より

